

●八戸港（河川流下土砂）

【経緯】

青森県の八戸港は、馬淵川から毎年 35 万 m³の流下土砂が港内に流入、堆積しており、船舶航行や港湾施設利用に支障を来していることから、浚渫等で流下土砂を適切に処理し、港湾機能を維持していくことが求められています。



八戸港全景

【活動状況・成果】

「八戸港港湾計画-改訂-」（平成 21 年 11 月）によると、浚渫土砂は、土地造成の埋立用材として有効活用を図り、八太郎地区の海面処分・活用用地は、工業用地 47 ha、交通機能用地 1 ha、河原木地区の海面処分・活用用地は、埠頭用地 15 ha、港湾関連用地 8 ha、危険物取扱施設用地 12 ha、工業用地 8 ha、緑地 2 ha、交通機能用地 2 ha として土地利用を図るとしています。



浚渫状況

（八戸港 河原木地区）

東北地方整備局港湾空港部 HP <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/>

（港湾・空港ガイド/青森県 より）

青森県 HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/>

（八戸港港湾計画書(H21 改訂) より）